

経尿道的膀胱腫瘍切除術を受けられる 様へ

説明医師

P1/2

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	
経過	治療前日 (入院日)	当日術前	当日術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目 (退院日)
目標	心身ともに安定した状態で手術を受けられる 治療に対する不安を表出できる		膀胱刺激症状がない 38.0℃以上の発熱がない 血尿スケールがⅡ以下で経過する 尿道カテーテル抜去後自然尿がある		退院後の生活上の注意点が述べられる	
検査	身長、体重測定			採血		
食事	夕食後絶食、21時以後絶飲食 経口補水液は、麻酔科の指示で服用		帰室 6時間後より水分開始	水分は1日1.5ℓを目安に摂取 朝より食事再開		退院日は朝食のみ
	朝食は 自宅で					
処置・観察	リストバンドを装着します (退院日まで) ・弾性ストッキングのサイズを測定し、お渡しします	点滴の針を留置します 時間になれば看護師が手術室にご案内します	手術後以下の挿入物装着物があります ・酸素 → 取り外します ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → 取り外します ・尿道カテーテル → 医師判断のもと取り外し、数回排尿を確認します			退院時にリストバンドを外します
	状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります(血圧自己測定も実施予定です)					
点滴・内服	持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください	手術室で点滴を開始します(手術が午後の場合は病棟で点滴を開始します)	以下の点滴を行います ・持続点滴 → ・抗菌薬 →			
	シャワー浴できます	以下の手術準備をします ・シャワー浴 ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し	シャワー浴できます(週3回、病棟毎で日が異なります)			
行動・リハビリ	制限はありません	翌朝までベッド上安静です(寝返り可)	歩行を開始します	尿道カテーテル抜去後はトイレで排尿できます		朝食後退院です
	医師・麻酔科医より説明(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について	医師より説明 ・手術結果について	看護師より説明 ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について ・水分摂取の必要性 ・尿意、疼痛が強い場合はナースコール	看護師より説明 ・水分摂取について(1日1.5ℓを目安に摂取)	医師より説明 ・退院後の治療計画、療養上の留意点について	
説明	病棟・手術室看護師より説明 ・入院生活について(パスシートを使用) ・手術について	看護師より説明 ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について ・水分摂取の必要性 ・尿意、疼痛が強い場合はナースコール	看護師より説明 ・水分摂取について(1日1.5ℓを目安に摂取)		看護師より説明 ・退院後の療養生活について(退院療養計画をお渡しします)	
	薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について					

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

17-C67-1 2023.5.8版 京都第一赤十字病院

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

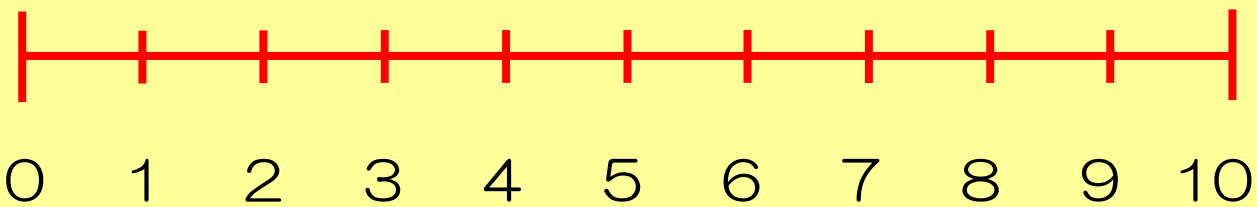
手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

 手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください

10 を最大の痛みとした場合
今の痛みはどのあたりですか



痛みがない

中等度の痛み

最大の痛み

APS チームがサポートします。

よろしくをお願いします。

